

委員コメント一覧表

I 全体評価

1 総評

- ① 良好である。
- ② 各分野とも前年度に増して取り組みが前進していると認められる。
- ③ 環境の変化によると考えられる受験者数の減少や就職率は高いものの県外就職が増加傾向にあり、引き続き課題とし取り組みの強化をお願いしたい。
- ④ 各分野とも着実に取り組まれており、全体として年度計画の目標を達成していると認められる。

2 業務の実施状況

- ① 十分に実施されている。
- ② 項目別評価記載のとおり。

3 組織、業務運営等に係る改善事項等

なし

項目別評価

1	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（教育）	評価	
<p>① 十分である。</p> <p>② インターンシップについて、着実に対象企業、参加者が増加しており評価する。</p> <p>③ その他の取り組みについても、全体的に参加者の増加が認められており評価する。</p> <p>④ 短期語学研修について、来年度以降の効果を高めるため十分な検証を行い、この効果の拡大を図られたい。</p> <p>⑤ 外国語支援システムの利用状況の分析を行い利用率向上、効果の拡大を図られたい。</p> <p>⑥ 新たなカリキュラムの一貫として美術実技を試行し、平成27年度から科目設定したことは、国際芸術センターの機能を活かす面からも評価できる。</p> <p>⑦ 退学勧告、科目等履修、再入学をリンクさせた制度は、成績不良者に再チャンスを与える制度として機能しており、評価できる。</p> <p>⑧ 新たな成績判定システムである履修シミュレーションシステムの導入は、学生に現在の単位履修、GPAから今後必要な単位、成績を自己確認させ、今後の学修に積極性を促す効果が期待でき評価できる。</p> <p>⑨ 文理融合を基本とした公立はこだて未来大学との交流協定の締結は今後の成果を期待したい。</p>			

2	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（研究）	評価	
<p>① 妥当である。</p> <p>② 青森市の政策課題の協力について、市街地活性化等と合わせ当面の課題となっている、少子化問題、地方創生の課</p>			

題等についても積極的に関与し、提言を行うこと。

- ③ 学術リポジトリを構築し、研究成果を学内外に公開するとともに、公開講座等を通じて研究成果の理域還元に努めたほか、学生の主体的参加を促す取組を行うなど評価できる。

3 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（地域貢献）

評価

- ① 妥当である。
- ② 青森市の政策課題の協力について、市街地活性化等と合わせ当面の課題となっている、少子化問題、地方創生の課題等についても積極的に関与し、提言を行うこと。（再掲）
- ③ 地域連携センターを核に、学生を主体とした地域活性化、地域貢献活動を積極的に行っており、評価できる。
- ④ 様々な広報媒体を活用し、オープンキャンパス参加者確保に努めた結果、参加人員が過去最高になったことは評価できる。
- ⑤ 国際交流に関する基本方針に基づき、短期語学研修、総合研修先として新たに2大学を決定し、平成27年度実施に至ったことは評価できる。
- ⑥ 青森市ほか地方公共団体との連携が優れていた。今後についても一段と推進されたい。

4	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画	評価	
<p>① 妥当である。</p> <p>② 人事に関する新たなルールを順次検討し、教員等の任期制から定年制への移行を決定するなど着実に取り組んでいることは評価できる。</p>			

5	財務内容の改善に関する目標を達成するための計画	評価	
<p>① 妥当である。</p> <p>② 受験生確保対策として、県内外の高校訪問数の増やオープンキャンパスの広報活動による参加者の増、模擬試験受験者の入学検定料減免制度の実施等に努めており評価できる。</p>			

6	自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための計画	評価	
<p>① 妥当である。</p> <p>② 外部認証評価の結果を受けての課題検討、教員業務評価の実施、それらの情報を共有する場としてのFD、SDの開催学内外への情報公開等、着実に取り組んできていると求められる。</p>			

7	その他業務運営に関する重要目標を達成するための計画	評価	
<p>① 妥当である。</p> <p>② 未実施の教室等の貸し出しについては、早期に基準等再精査の上実施されたい。</p> <p>③ 教員住宅の入居料を見直し改修費に充てるなど、自主財源の確保を図ったことは評価できる。</p>			